

議会だより

いわいずみ

No.196

2021.10.20 発行
岩手県岩泉町議会



Contents

02 地域防災の要 団員減が課題

04 2年度決算 災害復旧工事が完了

08 決算審査 ここをチェック

13 町の考えを問う（6議員が一般質問）

大家族シリーズ ㊥

石畑の中村^{となみ}十七美さん・竹花^{るきあ}啓太さん7人家族です。琉希空さん（小川小6年）は、先月行われた下北地区陸上記録会100[㌢]の部で、大会新記録の成績を収め優勝しました。これからの子どもたちの活躍が楽しみです。

地域防災の要 団員減が課題



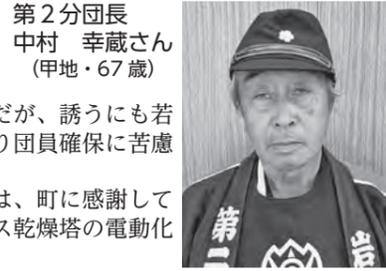
第1分団長 佐々木 誠さん
(向町・54歳)

**自然水利確保の懸念
商店街水路と要検討**

台風災害の河川改修により、自然水利の確保が懸念される。うれいら商店街を通っている水路とともに検討が必要では。
ポンプ操法などの訓練を通じて実戦に備えたい。

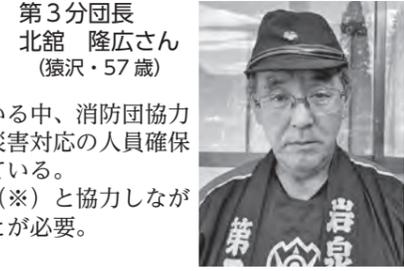
**団員減少が課題
人材確保に苦慮**

団員の減少が課題だが、誘うにも若者がいない地区もあり団員確保に苦慮している。
消防資機材の整備は、町に感謝している。できればホース乾燥塔の電動化を検討してほしい。



**協力事業所
心強く思う**

団員数が減っている中、消防団協力事業所の制度は、災害対応の人員確保などで心強く思っている。
機能別消防団員(※)と協力しながら活動して行くことが必要。



第4分団長 田代 覚さん
(石畑・63歳)

**屯所と部の編成
検討の必要あり**

屯所の整備と併せて団員の少ない部の編成を検討する必要がある。
若い団員が多く心強いので、訓練を充実させ災害に備えたい。



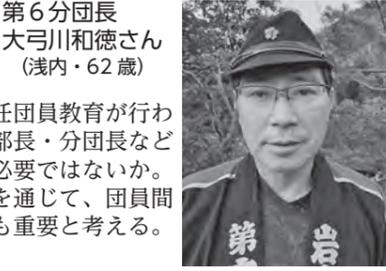
第5分団長 菊池 勝人さん
(中沢・62歳)

**災害想定訓練
定期的に実施**

停電時の情報伝達の在り方を検討する必要がある。
団員の確保は、団員であることのメリットを考えてはどうか。
災害を想定した訓練を定期的に行っている。

**団員間の
親睦重要**

団員の教育は、初任団員教育が行われているが、班長・部長・分団長など階級に応じた教育も必要ではないか。
災害に備えた訓練を通じて、団員間の親睦を深めることも重要と考える。



**自助・共助の必要性
団員相互で共有する**

団員が多い分団であると思うが、減少に歯止めがかからない。団員確保に各地区の協力が必要である。
災害時の自助・共助の必要性を団員相互で共有しているが、定期的な訓練をしながら有事に備えたい。



第8分団長 鈴木 均さん
(茂井・63歳)

**団員減少で
大会に支障**

団員の減少と高齢化が深刻な問題になってきた。災害への対応はともかく、演習や操法大会などへの参加に支障を来しつつある。近い将来には部の編成の検討も必要である。



本町は、東日本大震災、台風10号豪雨災害と大きな災害を経験しました。
近年は、全国的にこれまで経験したことのない災害が発生する傾向にあり、地域防災の果たす役割は非常に重要なものとなっています。
ここでは、町の消防団体制の状況を分団長の声とともにお伝えします。

**2年度団員活動
火災に371人**

2年度の消防団員の活動実績は、延べ火災活動371人、消防訓練566人、警戒など3145人。地域の安心・安全を守る活動を行いました。

**装備新基準で
活動服を購入**

平成26年に消防団の装備基準が改正されました。改正点は①安全確保の装備②情報伝達可能な装備③救助活動用・後方支援用資機材整備④の3点。
約5カ年で安全靴、耐切創用手袋などを配備し、昨年は、新基準

消防団員数の推移 (基準日: 4月1日)

年 度	S41	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
消 防 団 員 数	1,086	546	537	530	528	532	525	517	505	508	499	482	481	479	472	465	454	445	436
うち機能別団員	-	-	-	-	-	-	49	50	49	48	50	47	49	59	57	59	66	69	68
合 計	1,086	546	537	530	528	532	574	567	554	556	549	529	530	538	529	524	520	514	504

装備等の更新状況

	H29	H30	R1	R2
防 火 衣	33	6	54	
防 火 帽		6	56	4
銀 長 靴			55	40
救 命 胸 衣			10	
ト ラ ン シ ー バ ー	145	149	15	
ヘ ッ ド ラ イ ト	224	207		
チ ェ ン ソ ー	21	9	1	
新 基 準 活 動 服				530
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	4	2	2	2

活動服530着を購入しました。
そのほか、トラランシーバー、ヘッドライト、エンジンチェーンソーも新基準へ更新し、すでに全屯所へ配備済です。

昨年度は、第3分団(猿沢)と第7分団(小成)の小型動力ポンプ付き積載車2台を更新し、消防力の充実強化を図りました。

**毎年10人前後
団員数が減少**

団員数は、毎年10人前後減少しており、本年は504人となっています。

**車両2台更新で
充実強化を図る**

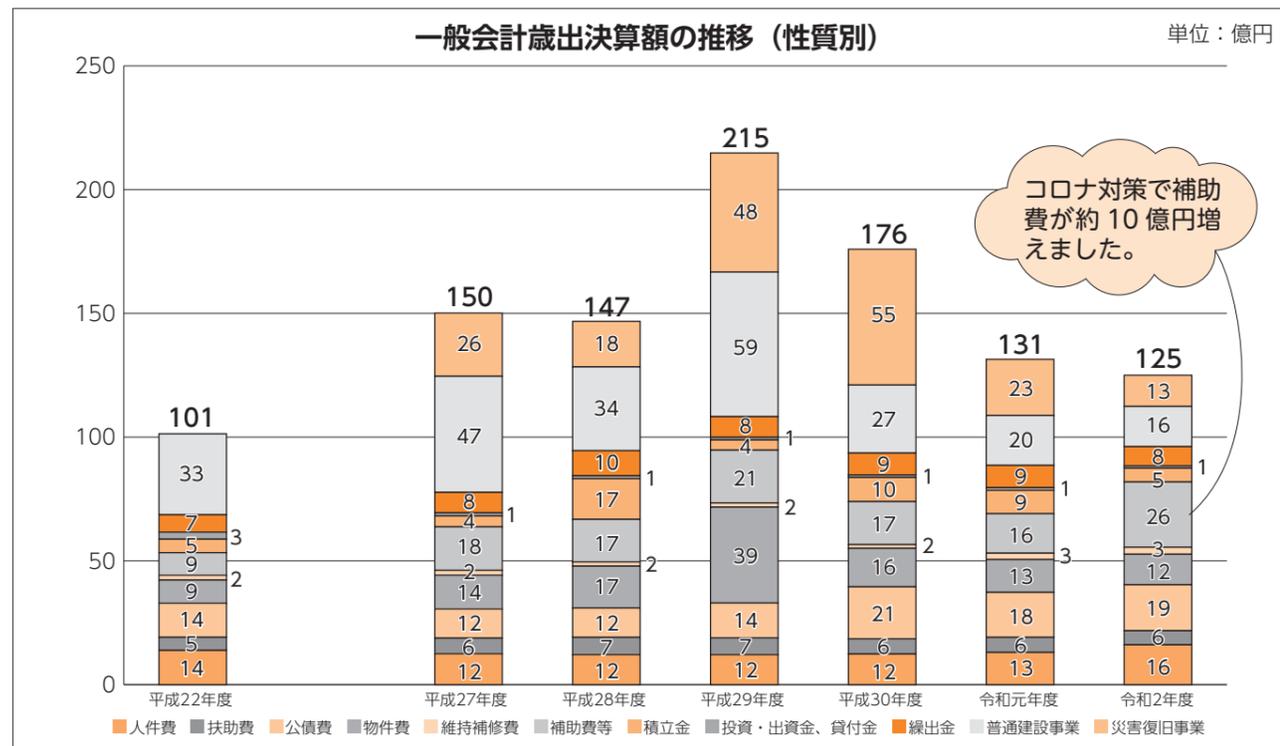
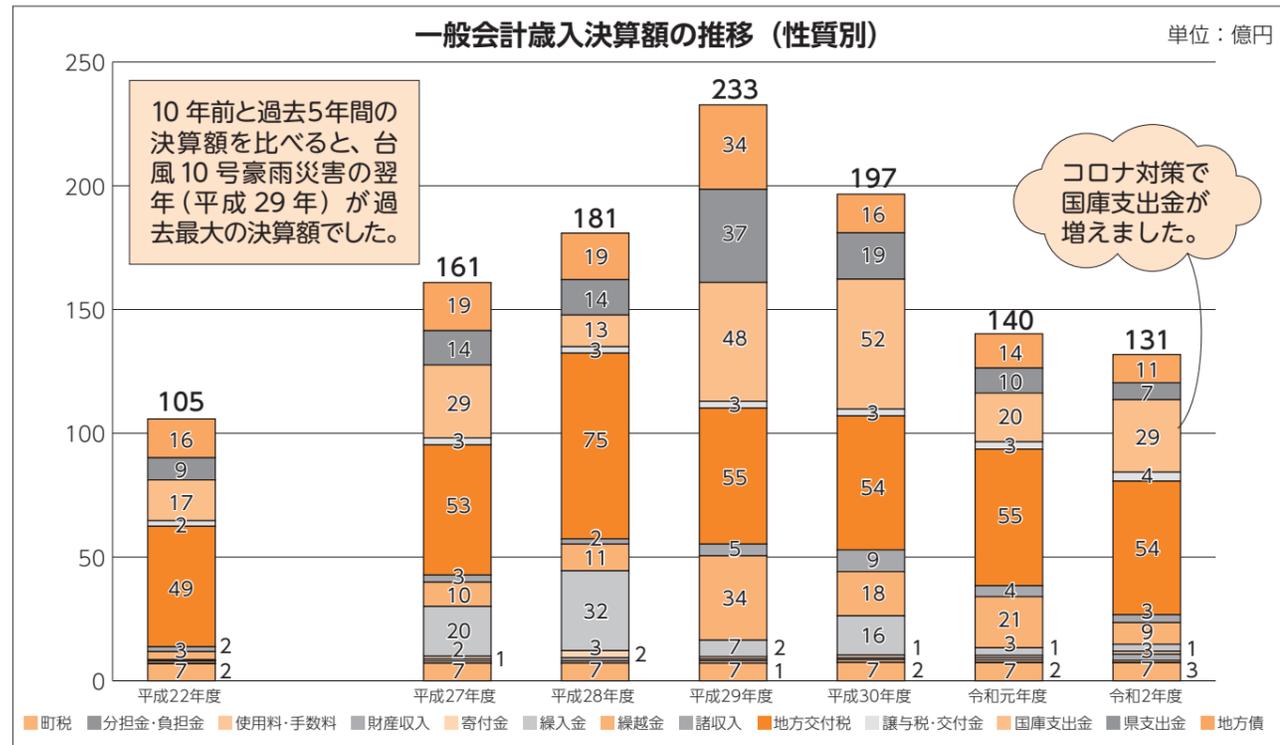
台風10号豪雨災害から5年。町では消防団への設備・装備の充実を図っています。
ところが、団員の減少と高齢化に歯止めがかからないのが共通の課題であり、解決策の検討が必要です。
災害が頻発する昨今、消防団の活躍が期待される反面、在り方を検討する時期にきています。

山 昌 典



迫力の消防演習の様子 (平成30年6月)

(※) OB 団員や予防・広報団員など体力の問題などで訓練に参加できなくても無理のない範囲で活動する消防団員



◆財政用語の解説◆

【町税】 財政力の根幹を成す税金

【地方交付税】 財政力の不足を補うための国からの交付されるお金

【国庫・県支出金】 事業に対して国・県から補助されるお金

【地方債】 事業の財源に充てるため国などから借りたお金

【譲与税】 国税である自動車重量税などが一定の割合で町に交付されるお金

【繰入金】 積立金から取り崩したお金

【諸収入】 延滞金、預金利子などのお金

【扶助費】 児童・高齢者等への支援の経費

【公債費】 国などから借りたお金の返済金

【物件費】 物品購入、委託、使用料など消費的経費

【補助費】 各種団体への助成や負担金

【普通建設事業費】 道路、橋、学校の整備に要する経費

【災害復旧事業費】 自然災害で被災した施設の復旧に要する経費



2年度
決算

災害復旧 工事が完了

9月定例会は、9月9日から17日までの9日間の日程で開かれました。
一般質問では、6人の議員が登場。【質問内容13～16ページ】
条例や補正予算などの11議案と2年度の各会計決算を審議し、全て全会一致で原案のとおり可決・認定しました。【関連6～11ページ】

2年度各会計の決算額

会計名		歳入	歳出
一般会計		131億8141万円	125億238万円
特別会計	国民健康保険	11億9875万円	11億7644万円
	事業勘定	4641万円	4102万円
	施設勘定	1億2414万円	1億2094万円
	後期高齢者医療	16億777万円	15億5441万円
	介護保険	850万円	778万円
	事業勘定	2億119万円	1億8300万円
	観光事業	1億8678万円	1億7618万円
公共下水道事業	657万円	656万円	
大川財産区			
合計		165億6152万円	157億6871万円
企業	水道事業会計	5億4125万円	6億7731万円

一般会計125億円
歳出決算を認定

2年度の一般会計歳出決算額は、125億238万円（前年比6億4457万円減）でした。

災害復旧工事がおおむね完了し、コロナ対策費が増額しました。ここでは、決算の状況をお知らせします。

決算審査意見 持続可能な 財政運営を



箱石憲市
代表監査委員

一般会計・特別会計
厳しい財政環境の中、実質公債費比率（※）は上昇傾向にあるが、町債（借金）現在高は減少した。主要基金（貯金）の保有額も台風災害を受けた平成28年度の基金額を超えており、堅実な財政運営は評価する。

今後を展望すると、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済の悪化や少子高齢化、生産人口の減少により、今後の経営環境はより厳しさを増すと考えられる。

安全な水道水を安定して供給するために、経営の効率化と透明化を進め、一層の経営の健全化に努められたい。

水道事業会計
人口減少に伴う料金収入の減少や施設の老朽化に伴う修繕・更新により、今後の経営環境はより厳しさを増すと考えられる。

安定した行政サービス提供のため、持続可能な財政運営に努め、町の発展に期待する。

少による税や地方交付税の減少が懸念され、厳しい財政状況が予測される。

監査委員による決算審査は、水道事業会計が6月14日から7月6日まで、一般会計・特別会計が7月26日から8月24日まで行われました。

9月9日の本会議で報告した決算審査意見の内容を要約してお伝えします。

（※）一般財源に対する公債費（借金）の比率。18%を超えると借り入れに国の許可が必要



一級町道鼠入川線ほか災害復旧工事
6億760万円



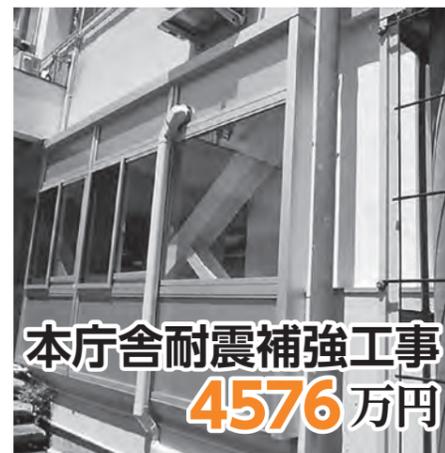
中小企業者等事業継続
支援給付金 4800万円



あまびたい
尼額消防屯所建築工事
2420万円



コンテナ積載車購入
1078万円



本庁舎耐震補強工事
4576万円

コロナ対策に重点

2年度の主な事業を写真で紹介

2年度の主な事業は、全世界で猛威を振るう、新型コロナウイルス感染症対策に重点がおかれしました。台風災害からの復旧・復興事業は、おおむね目途が立ちました。※決算額は、2年度のみのものであり、全体の事業費ではありません。



町立小中学校校内通信ネットワーク
整備工事 4818万円



小本漁港地域水産物供給基盤整備
(北防波堤工事) 2億8763万円



特別定額給付金
9億594万円



生活道整備事業補助金(台風)
7078万円

決算審査

子育て・定住化・新型コロナ対策…



問 コロナ禍での地域活性化の総括と課題は。

答 主要行事が中止になった。散策、ニュースポーツ、百歳体操など少人数で楽しめる活動や写真展の開催で域内交流を工夫した。人口減少・高齢化は共通課題で、域外交流の準備を実施中である。

まずの声

散策ツアーを企画しています



小本地域振興協議会 推進員

三浦 なおみさん (小本・53歳)

三浦 恭子さん (小本・56歳)

NPO ぱあとなあ、岩泉地域振興協議会と協働でダリア園散策、パークゴルフ、田野畑の道の駅を巡るツアーを企画しています。

各支所 活性化の総括と課題は

問 空き家実態調査の結果、使える家ほどの程度あったか。

答 岩泉・小川・小本中心部の調査で、外観上破損がないと判断された家屋が120戸程度である。

空き家 実態調査の結果は 120戸が使用可

問 空き家バンク成約件数が伸びているが、町内の人が入居したのか。

答 町内7件、町外(地域おこし協力隊員)2件、宿舍での借り上げ1件である。

まずの声

地元に戻ってきた住む環境の整備を

佐々木 巳喜男さん (釜津田・56歳)

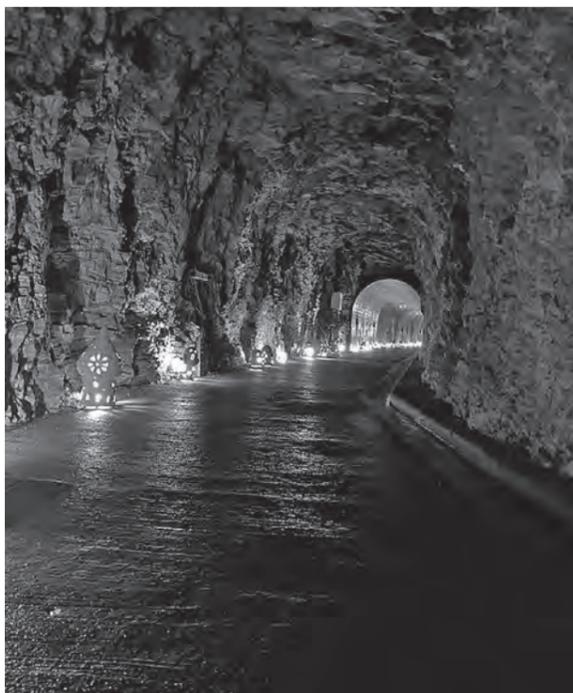
林業がしたくて地元に戻ってきました。住居は空き家を見つけましたが、給湯器の取り付けや裏の土砂の排出を自分でやりました。もう少し住む環境が整っていれば良かったと思います。



龍泉洞 ウィズコロナでの展望は 町民も楽しめる環境整備

問 ウィズコロナを見据えた今後の取り組みは。

答 対人接触なしで入洞できる仕組みを構築し、開園前の消毒も行ってきた。虫取り、川遊び、水生生物・山野草の観賞、散策路など四季折々の魅力を感じられるよう洞内、園地の環境整備を行った。来場者アンケートでも大変好評で、町民も来て楽しめるような園地づくりに取り組んでいる。



訪れるたびに変化が楽しめる龍泉洞

問 コロナ禍で町の観光業は大変な状況が続いているが、どのように展開しているか。

答 事業者全般に影響している。特に8月の県独自の緊急事態宣言発出後は、道の駅で客足が大きく落ちた。地域に向けたイベントを開催するなど、地元の皆さんにも楽しんでもらえる取り組みを実施している。

まずの声

みなさんも一度お越しください

株岩泉総合観光 龍泉洞事業部 施設管理課 久保房弘之さん (森山・62歳)

コロナでお客様が減りましたが、町一番の名勝として、町内外の皆さまにいつ来ても楽しんでもらえる園地の整備に取り組んでいます。ぜひ一度お越しください。



問 過疎地域持続的発展計画において、出生率の7年度目標値を2・3としている。

答 本町の子育て支援策は、先進的な方で、こども園の第3子無償化、健診・すくすく教室などのサポートに力を入れている。定住化対策での住宅整備にも力を注いでおり、これらを両輪に進めている。出産祝い金を上げる声が高まってくれば検討していく。



町全体で誕生をお祝い 西間涼花ちゃん (三本松・0歳)

問 コロナ禍で、募集活動に変化は。

答 コロナ禍で、募集活動に変化は。PRイベントをオンラインに変更し開催した。SNSなどを活用したPRは、県の担当者会議でも高評価を得ている。



引き続き町で活動

地域おこし協力隊を卒業しましたが、引き続き町でおいしい餃子を作って活動しています。私のように移住者が増えて欲しいので、子育てしやすく、活気あふれる魅力的な町になれば良いと願っています。

まずの声

針生和美さん (有芸・40歳)

問 出産祝い金増額の考えはないか。

答 昨年の1・99からどのように上げる考えか。

子育て 出産祝い金の増額を 定住化と両輪で検討

決算審査特別委員会(三田地泰正委員長)は、9月15日から17日までの3日間、一般会計と6特別会計、水道事業会計の2年度決算を審査しました。ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

問 子育て施策は重点的に進めている。

答 子育て施策は重点的に進めている。庁内組織体制を見直し、目標に向け頑張っていきたい。

現在の状況は 10人が活動中



変わりダネ餃子も好評です

地域医療を堅持 町立小川診療所を開設



開設予定の町立小川診療所（旧小川保育園）

条例補正予算等審査特別委員会（畠山和英委員長）は9月13日、付託された計画1件、条例2件、補正予算5件を慎重に審査。新たに町立小川診療所を開設するための条例改正と補正予算など全ての議案を可決すべきものと決定。同日の本会議において、全会一致で可決しました。

光熱水費なども病院の負担である。

その後の状況

新たに必要手続きが生じたため、開設を延期しています。見込みがたつまで、診療予定日だった日に送迎対応が行われます。

まずの声

山岸 サイさん（石畑）

高齢者に優しい医療体制を望む

何かあればすぐに診てもらえた近くの診療所が無くなったのは残念です。町には、いろいろな面で高齢者にも優しい医療体制であることを望んでいます。



診療所 開設の概要は 月2回の予定

開設概要はどのようになっているか。

第1・第3木曜日の午後には診療を予定。今後利用者が多い場合は、協議する。

旧小川保育園の一部を改修し、月2回、済生会岩泉病院の運営で開設予定である。

診療日は。

町立診療所の運営委託は全て無償で、

委託料が発生するかの。

コロナ 木材チップの支援は チップヤードを拡張

木材チップ業者の支援内容（※1）と対象事業所は。

各社の事業課題に寄り添い支援する。

トリア木材（株）の原木土場の拡大とチップヤード拡張の補助である。

今後、コロナの影響がある同様の事業所に支援は。

（※1）新型コロナの影響で紙媒体需要が低下し、製紙用チップの出荷が大幅に減少。新たにバイオ発電燃料用チップの出荷増を目指す取り組みを支援するものです。



バイオ発電燃料用チップの出荷増を目指す

教育 タブレット使用状況は 持ち帰り学習実施予定

町内小中学校ではすでに1人1台のタブレット端末を整備している。現在の使用状況は。

先生の集合研修を実施し、全児童には、学習ドリル教材を活用中である。

持ち帰り学習は、セキュリティポリシー（※2）を整備してから実施予定である。

通信環境がない家庭は何世帯でどう対応するか。

交通 停留所以外も乗れるか 自宅から安家地区内へ

デマンドタクシーは、停留所以外でも乗れるか。

自宅から、安家地区の行きたい場所まで乗車可能。予約制相乗りタクシーである。

実証実験中、町民バスの運行は止めるのか。

法律上、町民バスの運行を止めることはできない。同時並行で、デマンドタクシーの効果を見てもらうのがメインである。

電話予約は、いつまでにするのか。

利用日前日の夕方までとする。

約30世帯で、小型ルーター（※3）

を貸し出す予定。

利用者の数を把握するには、実証実験は違う時期にもう一回やるべきでは。

追加の実証実験は、事業者と協議し検討する。

デマンドタクシーとは？

利用者の事前予約に応じる形で、交通手段に不便を感じている人を自宅から目的地まで送迎するタクシーによるサービス。

【実証実験の内容】

- * 運行区域 安家地区
- * 運行経路 自宅から目的地（安家地区内限定）
- * 実証実験期間 10月1日から14日まで
- * 運行時間 午前6時から午後7時まで
- * 運賃 1回350円（片道）

事前アンケート結果

実証実験前に安家地区民の交通手段にかかる現状を町が調査した結果は下記のとおりでした。

予約制タクシーにかかる意見

- ・バス停まで歩くのも大変になってきたのでありがたい。
- ・ラクターを運転している。予約制タクシーは助かる。
- ・今のバスで足りている。
- ・空バスは申し訳ないが、バスがなくなるとは困る。

（※2）インターネットやコンピューターを安全に使えるように守るべき行為や判断を定めた指針
（※3）無線でネットワークに接続する装置

町の考えを問う

交通 認知症	町政 空き校舎	コロナ 医療介護負担	コロナ 経済対策	介護	地域振興
◆ ◆ 早川ケン子 議員 16 ページ 気軽で安価な交通システムを 認知症の見守り対応は	◆ ◆ 八重樫龍介 議員 15 ページ 2期目への姿勢と決意は 空き校舎活用プランは	◆ ◆ 林崎寛次郎 議員 15 ページ 子どもの感染対策に変化は 減免措置の継続を	◆ ◆ 畠山 和英 議員 13 ページ 大川七滝つり橋の整備は サンパワーに公衆トイレを	◆ ◆ 坂本 昇 議員 14 ページ 介護予防活動を総合力で	◆ ◆ 畠山 和英 議員 14 ページ 厳しい事業者への支援を 県の認証取得店の割合は

9月定例会 一般質問

6人の議員が質問しました。

一般質問とは…議員が町政課題への質問や提言を行うことです。



一般質問全文は、町 HP で公開しています。



獣医師不足の解消へ、県に提出

議員発議で意見書を提案

産業常任委員会では、町の獣医師不足解消のために県に対して意見書を提出することに決定。

作成した意見書は、議会運営委員会（畠山和英委員長）の協議を経て、9月17日の本会議に議員発議で三田地久志議員が提案。全会一致で可決しました。

意見書の内容

◆ 獣医師の確保対策をこれまで以上にを行うこと。

◆ 宮古家畜診療所下閉伊北部出張所の早期再開に向け対応すること。

◆ 農家の事故を減らし、獣医師の日常業務適正のため損害防止事業に積極的に関与すること。

◆ 獣医師の偏在解消に取り組むこと。

地方税財源充実を 求める意見書可決 ～国に提出～

【意見書の要旨】

コロナ禍の厳しい財政状況に対処するため地方税財源の充実を要望する。

意見書とは

町の利益に関することに対し国などへ議会
の意思を表明すること。

請願

1件を採択
意見書を
国に提出

9月定例会に提出された請願1件を採択し、国の関係機関に意見書を提出しました。

◆ 義務教育費国庫負担 制度負担率の引き上げ をはかるための、20 22年度政府予算に係 る意見書採択の請願

* 請願人 岩手県教職員組合下閉伊支部
支部長 鈴木永輝
* 紹介議員
合砂文司議員
* 付託先
総務常任委員会

* 請願の要旨

教育の水準の維持向上のため、2022年度政府予算編成において義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げるよう意見書を提出すること

* 審査の結果 採択



畠山 和英 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 大川七滝つり橋の整備は 答 規模内容を検討していく

問 平成28年台風10号豪雨災害により凍結となつている大川七滝つり橋の整備はどう進める考えか。



整備が望まれる大川七滝つり橋

その他の質問

◆ 「新ステーション」の推進
◆ 公営住宅の確保

問 「サンパワーおおかわ」は、バスの乗り継ぎ場所となっているが公衆トイレが無い。利用者は大変困っている。整備をする考えはないか。

町長 公衆トイレの設置は、必要であると認識している。

当面、本施設内にある消防屯所併設のトイレを利用できるよう関係者と協議していく。

町長 平成27年から執行を進めていた事業だが、台風災害の復旧・復興関連事業を最優先としてきた。

つり橋は、地域が目指す交流人口拡大の観光資源となり得る可能性がある。

再度、整備規模や費用対効果を地域と協議して検討していく。

17文字の
ひとりごと

七滝に
明日への夢を
つなぐ橋



林崎 寛次郎 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 国のコロナ対応をみると人災であると考えられる。原則自宅療養の方針を撤回し、必要な医療を提供すべきと考えるがどうか。
子どもの感染が拡大している。小学校の対応に変化はないか。

問 台風10号豪雨災害から5年が経過した。

答 前向きに検討する

問 減免措置の継続を

児童の感染が判明した場合、確認された



子どもたちを新型コロナから守ろう

町長 被災者が抱える経済的、精神的な不安なども念頭に入れていく。
令和4年1月以降の減免措置については、前向きに検討していく。

来年1月以降も医療費・介護利用料の減免措置を継続すべきと考えるがどうか。

問 子どもの感染対策に変化は

答 自宅待機の対象範囲を拡大

町長 入院が必要な患者が自宅療養となることは、大変由々しき事態であると感じる。小学校の対応では、「風邪症状がある場合は自宅待機」とする対応から「同居の家族まで自宅待機」に対象範囲が拡大されている。

学校の臨時休校などの措置を行う。

17文字のひとりごと

天災も人災も
なによりいのち

町長 入所・入居系サービスの介護給付費が増加している。介護予防活動の参加者を増やすため、65歳以上を対象に健康アップポイント事業も始めた。関係機関と連携し、組織体制の見直しを検討していく。

生涯の健康維持で介護ゼロ



いきいき100歳体操で介護予防

問 介護士不足が問題だ。町全体で確保に取り組み考えはないか。

教育長 児童生徒が将来の生活習慣病の予備軍とならないよう、学校と家庭が連携して取り組み、児童生徒の育成に努めていく。



坂本 昇 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 介護予防活動を総合力で

町長 県の介護福祉士修学資金貸付制度の周知、地域おこし協力隊との連携を視野に人材の確保につなげていく。

問 介護保険料の基準額は県内で2番目に高い。給付見込み額も高い額だ。介護給付の状況を打破するため、予防活動などの取り組みを町の総合力で行うべきでは。

町長 県の介護福祉士修学資金貸付制度の周知、地域おこし協力隊との連携を視野に人材の確保につなげていく。

問 厳しい事業者へ支援を

答 状況把握し対策を行う

問 県では独自の緊急事態宣言を実施し不慮の外出自粛を促している。さらに厳しい状況に追い込まれている事業者に対し、支援が必要ではないか。

問 町は、飲食店などへ県の認証制度取得に補助をしている。

問 町の8割超事業者が取得

問 県の認証取得店の割合は

町長 町では感染拡大防止対策やワクチン接種などの対応をしてきたが、さらなる長期化も想定される。事業者の下支えができるよう、県との一体的な経済支援策に加え、町単独支援など状況を把握し対策を行っていく。



感染対策万全でお客をお待ちしています

17文字のひとりごと

乾杯は
感染収束
した頃な

町長 重点施策は、一次産業の生産体制の強化と移住・定住、産業経済に寄与する道路網の整備促進。龍泉洞を核とする交流人口の拡大。健康づくりの強化、子育てと教育環境の充実など持続的なまちづくりの推進である。デジタル化やSDGsの推進、カーボンニュートラルの実現に向けた環境対策も進め、未来づくりプラン

問 2期目への姿勢と決意は

答 持続的まちづくりを推進

問 町政2期目への出馬に向けた基本姿勢と決意は。

を着実に実行する。



八重 樫龍介 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 空き校舎の活用は、他の自治体と差別化を図り、具現化に向け取り組む必要がある。現在のプランを示せ。

町長 空き校舎6施設は「岩泉町廃校舎活用希望者募集要項」を制定し、町内外に広く情報発信を行う。

旧小川小学校は、歴史民俗資料館をメインとした施設として活用を考えている。

問 空き校舎活用プランは

答 町内外に広く情報発信



有効活用に期待 旧大平小中学校

17文字のひとりごと

地域力
空き校舎から
造り出す

議場が若いパワーにあふれる 中学生議会



小川中3年 池原 朱音議長



小川中3年 中島 謙太議員



小川中2年 石橋 美月副議長



小本中3年 楠 賢人議員



釜津田中3年 佐藤 夢菜議員

第21回中学生議会は8月11日、1日間の会期で開かれました。一般質問では、7人の中学生議員が登壇。傍聴者は23人で、議場は若いパワーにあふれていました。ここでは、参加生徒のアンケート結果を紹介します。

Q1 議場に入ってみた感想は？

- ・これが議会なのかと感じられた。モニターなどあって驚いた。(岩泉中)
- ・議員は普段こういう所で議会を行っているのだと雰囲気を感じることができた。(小川中)
- ・決められた人しか入れないすごい場所だと思った。(釜津田中)

Q2 中学生議会はどうかだった？

- ・緊張したが、さまざまな意見や質問を聞いて、共感したり疑問を持つことができました。(岩泉中)
- ・議員は、普段からこういうことをしていてすごいと思った。(小川中)
- ・さまざまな意見が聞けて楽しかった。(小本中)

Q3 町をどう思う？

- ・自然豊かで人柄もとても良い町で住みやすい。(岩泉中)
- ・大人になっても住んでいたいと思えたり、若い人が集まったりする魅力的な町ではないと思う。(岩泉中)
- ・特産品があるメリットがあるが、人口が少ないなどのデメリットがけっこう多い。(小川中)

Q4 町がどうなってほしい？

- ・自然環境を残しつつにぎやかであってほしい。(岩泉中)
- ・魅力にあふれ、どんな人でも暮らしやすい町になってほしい。(小川中)
- ・自然を生かして、もっと楽しめる、ちょっと変わったことをしてほしい。(小本中)
- ・安全で観光客も多い楽しい場所。(釜津田中)

Q5 あなたが議員になったら何をしたい？

- ・人がもっと来てくれるような町にしたい。(小川中)
- ・幅広い層の意見を取り入れた提言をしたい。(小川中)
- ・子どもたちの地域とのつながりをつくりたい。(小本中)
- ・道路の改善。(釜津田中)



岩泉中3年 坂下 雄斗議員



岩泉中2年 大木 綾乃議員



小川中2年 川村 大輝議員



小本中3年 小成 美優議員

町長 一部実施しているデマンド交通をはじめ、タクシートの助成、ボランティア運転手による地域カーシェアリング、ライドシェアいわゆる自家用車の相乗りなどが考えられる。本町に適した交通体系を研究していく。

問 4月の町議会議員選挙を通して、80歳以上で元気な人が多いと感じた。その年代の人が公共交通以外に、気軽に安価に利用できる交通システムができるか。

答 本町に適した交通体系を研究



早川ケン子議員

一般質問・答弁 全文はこちらから



17文字のひとりごと 高齢化 ますます大事な足確保



共助・公助の組織づくりで交通体系を

町長 町職員、ケアマネジャー、介護ヘルパーが訪問している。その他に、地域振興協議会、自治会活動、民生委員や社会福祉協議会の見守り活動もある。いわて生協や郵便局に異変の情報提供をいただくなど多岐にわたる。新施設の整備は現時点では難しい。

問 認知症の見守り対応の状況と施設整備の予定はないか。

問 認知症の見守り対応は

答 多岐にわたる活動実施



三上 頼儀さん (二升石・67歳)

傍聴者の声

9月定例会の傍聴者数は、延べ10人でした。傍聴された二升石の三上頼儀さんから議会に対する声を聴きました。

地域活性化は重要 活発な議論を期待

傍聴のきっかけは。

50年ぶりに町に戻ってきて、町の行政、施策内容を理解したいと思っていました。

町議会が開かれるというところで、議会ではどのような質疑、応答内容がされているのか興味がありました。

傍聴された感想はどうでしたか。

議員さんからは地域の課題解決に向けて、要望事項の具体的回答を求めている姿が見受けられました。

町政からも前向きな回答がある一方、技術面や予算などを考慮しての一般論的な回答もみられました。地域の課題解決、活性化は重要な施策とされています。議会での活発な議論を期待しています。

議員に対する要望がありますか。

地域でのさらなる交流を深め、地域民のたくさんの声を町政の場にあげてもらいたいと思います。町政とのパイプ役をさらに強くし、地域の課題解決に向けて、提言・要望した内容の確実な推進、実現に向けて努力していただきたいです。

議会や町政に対する要望は。

コロナ禍で、地域活動も抑制されています。今後も地域の活性化は重要と考えます。実行面では困難な面も多々あると思いますが、できることやアフターコロナも見据えた活力ある議会運営、町政を期待します。

水の販売は、全国的に薄利多売が主流となっていてます。施設の老朽化で修繕費がかかり、販売展開が難しい状況です。町の特産品である商品に継続するために

**水事業経営が厳しい
(政策推進課参事)**
岩泉ホールディングス(株)

ステイホームで業績アップ 岩泉きのこ産業

コロナ禍で安定的な需要の獲得に努める
(経済観光交流課長)

昨年の生産量は、町全体で260ト。そのうち114トが加工処理されました。地域おこし協力隊や企業の参入も期待され、今後は大牛内地区を整備して生産拡大に努め稼働率アップを目指します。

**わざびの生産拡大で稼働率アップ目指す
(農林水産課長)**

産業常任委員会(三田地久志委員長)は7月14日、第三セクターの運営支援策調査として、町の担当職員と意見交換を行いました。岩泉きのこ産業は、コロナ禍でのステイホームで家庭内消費が増加したことなどが業績アップにつながりました。

市場価格の影響がない経営を研究中
(農林水産課長)

昨年は、ステイホームで家庭内消費が増えたことと光熱費の削減で、経常利益2331万円(前年比6610万円増)を計上することができました。市場価格に影響されない経営を研究中です。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で、経常利益がマイナス1359万円でした。冬期の弁当販売は、職員の活力維持にも繋がり、コロナ禍での安定的な需要獲得に努めます。



本年の業績にも期待

一級町道鼠入川線災害復旧工事と安家・茂井地区の生活橋補助事業の完了現場を調査しました。生活橋補助事業の残り6カ所分は、本年度で完了の見込みです。

町道鼠入川線復旧工事 生活橋補助現場を調査



生活橋補助事業完了現場

**堆肥原料調達の方法を検討する
(農林水産課長)**
(社)岩泉農業振興公社

堆肥事業の課題は、原料が高値で推移し、経費を押し上げていることです。パーク粉碎機の導入や菌床しいたけの廃ホダの利用など、調達方法を検討していきます。



世界の研究者が注目のP-T境界層

安家の文化・教育と地域の活性化を調査

総務常任委員会(八重樫龍介委員長)は8月6日、安家地区で文化・教育振興と地域活性化に関する調査を行いました。

旧大平小中学校の校舎は、平成3年に建築され30年が経過しています。(平成20年度に閉校)平成24年度から3年間実施した人材育成事業の研修拠点として活用されましたが、現在は常時閉め切られた状態です。傷みもなく利活用可能な状態であり、あらゆる角度からの検討が必要な状況です。

世界レベルの研究に寄与するP/T境界層
P/T境界層(※)は、安家の大鳥と大坂本地区で確認されています。特に大坂本の地層は、最も保存状態がよく、生物大絶滅の原因究明の基礎資料として世界レベルの研究進展に寄与するものといわれています。

**安家支所複合施設
避難所機能が充実**
88人の避難が可能で(コロナ禍だと44人)備蓄倉庫、浴室、調理室など避難所機能を重視した設備など充実しています。今後計画される複合施設のモデルとしたいものでした。



避難所機能が充実



まだまだ活用可能な旧大平小中学校

おしえてぴーちゃん
(※) P/T境界層とは？
恐竜絶滅時代(約6500万年前)より昔の古生代ペルム紀(Permian)と中生代三畳紀(Triassic)の境目で、生物の9割が死滅したといわれる生物大絶滅時代(約2億5200万年前)の情報がパックされている地層。
現在のハワイ諸島周辺に位置する海底の堆積物が、岩盤(太平洋プレート)によって運ばれ隆起したものを。

「所感」大鳥地区の地層は、幹線道路にも近く土砂や雑草を取り除けば一般の見学も可能と思われる。多面的な活用に期待したいです。
旧大平小中学校は、維持管理のために定期的な換気が必要と感じました。
(八重樫 龍介)

議場にかわいい お客さま

7月1日、釜津田小学校
4年の佐藤大空さんと同校
3年の佐々木鈴さんが、社
会科見学で議場を訪問。

議場では鈴さんが「すご
い。ふかふかだあ。」と議
場のじゅうたんの感触を味
わっていました。

傍聴席では議場を見て、
知っている議員の氏名標を
探して議席を確認していま
した。



左から金ケ崎町 巴 正市副議長、高橋由一町長、
当町佐々木副町長、野館議長、佐々木小本支所長

金ケ崎町産の リンドウ届く

8月11日、金ケ崎町・
同議会から、リンドウが
届きました。

東日本大震災で亡くな
られた人への供花とし
て、毎年ご持参いただい
ております。
ご厚意に感謝申し上げ
ます。



お詫びと訂正

いわいずみ議会だより第195号（令和
3年7月15日号）5頁で、小本浜漁業協
同組合職員の大澤さんのお名前に誤りがあ
りました。お詫びして訂正します。

誤：大澤美智子さん 正：大澤美賀子さん



議会を傍聴しませんか

次回の定例会は

12月2日（木）本会議・一般質問

3日（金）一般質問

7日（火）条例補正予算審査・本会議 の予定です。

※都合により変更となる場合があります。

広報広聴常任委員会

委員 長	委員 長	委員 長	委員 長
野館 泰喜	千葉 泰彦	八重樫 龍介	佐藤 安美
野館 泰喜	千葉 泰彦	八重樫 龍介	佐藤 安美
野館 泰喜	千葉 泰彦	八重樫 龍介	佐藤 安美



過去の議会だより
はこちらから

広報広聴常任副委員長
佐藤 安美

ます。
よろしくお願いたし
ます。

▽岩泉町議会は新体制
から5カ月がたち、議
会活動に取り組んでい
ます。第3回定例会の
一般質問、補正予算、
決算審査で、活発な議
論が交わされました。
▽議会だよりでは「ま
ちの声」を掲載してい
ます。町民の皆さんの
感想・ご意見をいただ
き、紙面づくりに努め
ていきます。ぜひ議会
の傍聴などに足をお運
びいただき、声をお聞
かせください。これか
ら「議会だより」を
よろしくお願いたし
ます。

編集後記



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。

